

対馬保健所管内における感染症情報

令和7年第50週(12月8日～12月14日)

I. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり(人)		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (49週)	今週 (50週)		対馬病院	上対馬病院	豊玉診療所	
↑	(季節性)インフルエンザ	24.67	28.33	85	47	11	27	10歳未満:33名 10歳代:18名 20歳代:8名 30歳代:5名 40歳代:8名 50歳代:2名 60歳代:4名 70歳代:4名 80歳以上:3名
↑	新型コロナウイルス感染症	-	1.00	3	2	1	0	10歳未満:1名 30歳代:1名 70歳代:1名
	RSウイルス感染症	-	-	0	0	0		
↓	咽頭結膜熱	1.00	-	0	0	0		
↑	A群溶血性レツチ球菌咽頭炎	-	1.00	2	2	0		4歳:1名 9歳:1名
	感染性胃腸炎	-	-	0	0	0		
	水痘	-	-	0	0	0		
	手足口病	-	-	0	0	0		
↓	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.50	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	-	0	0	0		
	ヘルパンギーナ	-	-	0	0	0		
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	無菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
↑	マイコプラズマ肺炎	-	1.00	1	*基幹定点			
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-	*基幹定点			
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	*基幹定点			
↓	急性呼吸器感染症(ARI)	69.33	65.67	197	ARI定点			

2. 全数把握対象疾患

・発生なし

◆対馬市において季節性インフルエンザの報告数の増加が続いています。
基本的な感染対策の励行を心がけて、年末年始を元気に乗り越えましょう！

3. トピックス、季節情報

★年末年始に海外へ渡航される方へ★

海外で感染症にかかるないようにするために、感染症に関する正しい知識と予防方法を身に付けましょう！

《海外での感染症予防のポイント》

- ◆ 感染の可能性が最も高いのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。
- ◆ 日本で発生していない動物や蚊・マダニなどが媒介する病気や、人から人に広がる感染力の強い麻しん(はしか)、風しん及びポリオが流行・発生している地域があります。
- ◆ 渡航前に渡航先の感染症発生状況を確認し、推奨される予防接種を受けましょう。



《帰国時・帰宅後に体調が悪くなったら》

- ◆ 帰国時に発熱、咳、発疹、下痢などの症状がある場合や、渡航先での出来事で健康上心配なことがありましたら、検疫所でご相談ください。
- ◆ 渡航中又は帰国直後に症状がなくても、しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、渡航先での活動内容などを必ず伝えてください。